



# 宗四小だより

1月号

志木市立宗岡第四小学校  
志木市上宗岡1-1-2  
048-473-5250



<http://www.mune4syo.ed.jp/>

児童数 568名 令和4年1月11日発行

目指す学校像『笑顔・感動いっぱい 虹色に輝く みんなの学校』



## 「ストロングポイント【強点・強み】を伸ばす1年に」

校長 高柳 政行

新年明けましておめでとうございます。令和4年・2022年も昨年同様に、本校児童と教職員への温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。また、児童一人一人の豊かな学びの充実のため教職員一丸となって努めてまいりますので、保護者・地域の皆様のご理解・ご協力を重ねてお願い申し上げます。



さて、今年の干支は「寅（とら）」です。「寅」は動くの意味で、春が来て草木が生じることを表し、芽をだしたものが成長するといった意味があるそうです。新しい年に、児童一人一人が自らの強みを生かし成長できる年であってほしいと願っています。



日本人は、「弱点と向き合う」とか、「弱点を克服する」といった、弱点や短所の方に着目した控えめな生き方を目指そうとする傾向があると言われます。そういった生き方も大切な視点でしょう。しかし、それ以上に「強点を伸ばす（弱点の反対は強点ではなく、強点ということは本来使わないそうです。英語ならストロングポイントという言葉でしょう。ここは、あえて使います）」生き方が子ども達の成長を大きく支え伸ばすことにつながると考えています。

ノーベル物理学賞を受賞した真鍋さんは「研究はとにかく楽しまないとだめだよ」とよく話されていたそうです。アメリカン・リーグの最優秀選手に選ばれたエンゼルスの大谷選手は、「本当に純粋にどこまでうまくなれるかなと、頑張れたところが良かった」と語っていました。「あなたは朗読が上手ですね」とほめられた児童が、「自分は朗読が上手い」という部分に意識が向き、宿題とは別に自然と進んで朗読を練習し、さらに朗読が上手くなるということがあります。小学生の頃に先生から朗読をほめられたことをきっかけにアナウンサーになったという話も聞いたことがあります。

これら3つの話はどれも、「弱点を克服する」という発想ではなくストロングポイント「強点・強み」を伸ばすということに重さがあると考えます。子ども達も新年を迎え、新たに目標や希望を抱いていることでしょう。そして、自らのストロングポイントを心に抱き、自信を深め、伸び伸びと育ててほしいと願います。そのために、周囲の方にもお願いがあります。是非、「〇〇が上手だね」「〇〇のセンスがあるね」などとストロングポイントを見つけ、認め、肯定的な声かけを多くしてあげてください。体調や顔色が悪くないのに「どうしたの？顔色が悪いよ」と3人の人から言われると具合が悪くなるという心理学の「ラベリング」という実験があります。この「ラベリング」を生かし、ストロングポイントを見つけ、きちんと評価したり繰り返し伝え続けたりすることで本当に強点・強みになっていくことでしょう。

学校でも、家庭でも、そして地域の方からも、宗四小の子ども達達のストロングポイントを見つけ、認め、声をかけ、大きく成長させてほしいと考えます。子ども達にとっては、自らの強点・強みに自信を深め、自ら成長できたと自覚できる令和4年・2022年にしてほしいと願っています。